

令和3年1月15日

東京都知事
小池 百合子 様

中央区議会議長
押田 まり子

新型コロナウイルス感染対策に関する要望書

年末年始から、陽性者、重症患者の数が高水準で推移しているなかでの緊急事態宣言は、感染の拡大を防ぐ意味で必要な措置であります。東京駅に接し、国内外を問わず多くのビジネスマンが去来する中央区は、二次医療圏により病床数も増やせず、感染爆発や医療危機と常に隣り合わせです。

他方、銀座、築地、日本橋など日本を代表する飲食店街を抱える本区は、取引先等関連事業者や救済対象となっていない喫茶店、早朝営業の飲食店が数多くあり、受動喫煙対策と相俟って、まさに存亡の危機にあります。飲食店は、宅配事業等に活路を見出そうとしていますが、経費が嵩み、採算をとれないのが現実です。

以上より、感染拡大防止と生活経済を守るための更なる支援が必要であり、下記の事項につき、その実現を強く要望します。

記

1. 国や区市町村と早期に協議連携のうえ、地域特性に適ったワクチン接種の体制を確立して、円滑に実施すること。
2. 都立・公社病院における受け入れ体制の強化と二次医療圏の見直しを含めた感染症専用病院を新設すること。
3. 生活支援と就業支援を強化し、迅速に対応すること。
4. 飲食店関連事業者、喫茶店等他業種中小企業への経済支援策の実施と宅配事業など新たな取り組みに対して一層支援すること。
5. 据置期間延長等融資制度の弾力性ある運用と金融機関による貸し渋り、貸し剥がしへの懸念を払拭すること。

以上